学校番号	1202

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新版世界史Ａ」　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象について、常に「なぜ」と疑問をもち、その経過、影響、周辺との関係性などを多面的・多角的に考察するくせをつけよう。
・現在の社会と世界の歴史の流れは別個のものではない。国家間、地域間の諸事情や歴史的背景に関心を持つとともに、世界の中で、現在の日本がどのような状況にあるのかを考えてみよう。

2　学習の到達目標

・近現代史を中心に世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解する。
・現代の諸課題を歴史的観点から考察することができる。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。	現代世界の諸課題を見出し、世界の形成を歴史的観点から多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断している。また、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、必要な情報を選択しながら読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界形成の歴史的過程と生活･文化の地域的特色について､基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	授業観察 発問評価 ワークシート 振り返りシート	授業観察 発問評価 定期考査 ワークシート	授業観察 発問評価 定期考査 ワークシート	授業観察 発問評価 定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○		○ ○		a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 c:史料を読み取る活動，年表に表現するなど，世界史学習の基本的技能を身につけている。（提出課題）	授業観察 発問評価 ワークシート 定期考査
	ユーラシアの諸文明	第１章　ユーラシアの諸文明と交流 1 東アジア世界の形成 2 東アジア世界の展開 3 東アジア世界の発展 4 モンゴル帝国と元 5 南アジア世界の形成 6 南アジア世界の展開 7 オリエント世界の統一 8 地中海世界の形成 9 キリスト教の成立と発展 10 イスラームの成立 11 イスラーム帝国の分裂と多様化 12 ヨーロッパ世界の形成 13 ヨーロッパ世界の展開	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	◆ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質について a:特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:それぞれの特質を見いだし、今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:それぞれの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な事柄を今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 発問評価 ワークシート 定期考査
2学期	第Ⅱ部　一体化する世界と日本	第２章 一体化に向かう世界と日本 14 ルネサンスと宗教改革 15 大航海時代 16 絶対王政の時代 17 西ヨーロッパ諸国の展開 18 東ヨーロッパ諸国の展開 19 近代ヨーロッパと世界貿易 20 イスラーム諸王朝の成熟 21 オスマン帝国とヨーロッパ 22 明から清へ	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	◆大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジアの諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制の成立と大西洋貿易の動向について a:それぞれの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:それぞれの特質を見いだし、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:それぞれの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な事柄を、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業観察 発問評価 ワークシート 定期考査

2学期	第Ⅱ部 一体化する世界と日本	第３章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 23 産業革命 24 アメリカ独立革命 25 フランス革命 26 ナポレオンとウィーン体制 27 1848 年の革命 28 19 世紀後半のイギリスとフランス 29 19 世紀後半のイタリアとドイツ 30 東方問題と 19 世紀のロシア 31 19 世紀のアメリカ合衆国 32 西アジアの変動 33 南アジアの変動 34 東南アジアの変動 35 中華帝国の動揺 36 明治維新と東アジア 37 東アジアの変革	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	◆18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌について a:特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:それぞれの特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:特質についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
3学期	第Ⅲ部 地球社会と日本	第４章 現代世界のあゆみ 38 急変する社会 39 帝国主義と世界分割 40 ヨーロッパ国際関係の緊張 41 第一次世界大戦とロシア革命 42 ヴェルサイユ体制と国際連盟 43 戦間期の欧米と日本 44 西アジア・インドの民族運動 45 東アジアの民族運動 46 世界恐慌とニューディール 47 ヒトラーとムッソリーニ 48 満洲事変から日中戦争へ 49 ヨーロッパでの戦争 50 アジア・太平洋戦争 （太平洋戦争）	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	◆第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質に対して ◆冷戦終結後の世界で起こった地域紛争の原因・背景、科学技術の人類への寄与と課題、人類の生存と環境、世界の平和と安全などに対して a:関心を高め、意欲的に追究している。 b:特質を見いだし、世界の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。